



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年4月27日

上場会社名 株式会社 不二家  
 コード番号 2211 URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 宣行  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務人事本部長 (氏名) 佐野 正樹  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5978-8100

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	29,558	5.4	414	△59.0	395	△66.3	30	△96.1
2025年12月期第1四半期	28,051	3.5	1,010	△8.6	1,172	△4.7	784	△6.0

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 376百万円 (62.5%) 2025年12月期第1四半期 231百万円 (△84.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	1.20	—
2025年12月期第1四半期	30.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	103,746	65,324	57.5
2025年12月期	106,366	66,104	57.0

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 59,699百万円 2025年12月期 60,634百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	58,000	2.3	700	△41.8	800	△53.1	300	△64.1	11.64
通期	125,000	4.6	3,200	12.6	3,650	1.1	2,100	3.4	81.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年12月期1Q	25,784,659 株	2025年12月期	25,784,659 株
-------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年12月期1Q	9,119 株	2025年12月期	9,053 株
-------------	---------	-----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年12月期1Q	25,775,575 株	2025年12月期1Q	25,775,628 株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2026年1月1日～3月31日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や政府の各種政策の効果により、景気は緩やかに回復いたしました。その一方で、緊迫する中東情勢などの地政学的リスクの高まりに伴う原油価格の上昇や為替相場の不安定な推移など外部環境が不透明さを増す中、食品業界においては、原材料価格の高止まりや人件費、物流費の上昇、相次ぐ製品価格の改定に対する消費者の節約志向の高まりにより、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況下において当社グループは、安定的な商品供給に注力するとともに、商品構成の見直しや生産効率の向上、コスト抑制への取り組みを継続しつつ、お客様により良い商品と最善のサービスの提供を心掛け、売上と利益の確保につとめてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は295億58百万円（対前年同期比105.4%）、営業利益は4億14百万円（対前年同期比41.0%）、経常利益は3億95百万円（対前年同期比33.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30百万円（対前年同期比3.9%）となりました。なお、利益面では、価格高騰のピーク時に調達したカカオ豆を原材料として使用したことに伴う売上原価の上昇により減益となりました。しかしながら、その影響は通期業績予想において想定しており、当第1四半期連結累計期間の業績は概ね当初の計画通りに推移しております。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当第1四半期連結累計期間		前第1四半期連結累計期間		対前年同期比	増減
		2026年1月1日から 2026年3月31日まで		2025年1月1日から 2025年3月31日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
洋菓子事業	洋菓子	5,963	20.2	6,242	22.3	95.5	△278
	レストラン	1,482	5.0	1,516	5.4	97.7	△34
	計	7,445	25.2	7,759	27.7	96.0	△313
製菓事業	菓子	19,969	67.6	18,459	65.8	108.2	1,510
	飲料	1,235	4.2	921	3.3	134.1	313
	計	21,205	71.7	19,380	69.1	109.4	1,824
その他		906	3.1	911	3.2	99.5	△4
合計		29,558	100.0	28,051	100.0	105.4	1,507

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### <洋菓子事業>

当社単体の洋菓子事業においては、洋菓子チェーン店にて「プレミアムショートケーキ（苺）」をはじめとするプレミアム製品群に加え、「夢が詰まったとおきのあまい物語」をコンセプトとしたケーキ『マンスリーシーズンドリームストーリー』を展開し、付加価値の高い製品の拡売に注力いたしました。一方で、「ガナッシュショコラ」などお買い求めやすい価格帯のケーキを新たに投入し、品揃えを拡充することで、消費の二極化に対応した戦略を推進いたしました。また、新キャラクター『ペコちゃんポコちゃんとゆかいな仲間たち』を催事や洋菓子製品のパッケージに活用するなど、話題性の喚起をはかりました。なお、当第1四半期連結会計期間末における不二家洋菓子店の営業店舗数は、不採算店や後継者不足等によるフランチャイズ店の閉鎖などにより830店（前年同期差49店減）となっております。

広域流通企業との取り組みについては、外食チェーン企業向けに「ミルクレープ」など高生産ラインを活用した製品の提案に注力したほか、北米市場への冷凍ケーキの輸出を拡大するなど、売上の向上につとめました。

しかしながら、洋菓子店舗数の減少や既存店の客数減少による影響が大きく、単体の洋菓子事業の売上は前年同期の実績を下回りました。

レストラン事業では、期間限定の「苺フェア」メニューの展開やランドメニューの改訂を実施したことにより、既存店売上は堅調に推移したものの、不採算店の閉鎖により、売上は前年同期の実績を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における洋菓子事業全体の売上高は74億45百万円（対前年同期比96.0%）となりました。利益面では、新たな生産設備の導入による省人化、生産ラインのレイアウト刷新による生産性向上の取り組みにより、収益性の改善につとめております。

#### <製菓事業>

当社単体の菓子事業においては、主力製品『カントリーマアム』に加えて、『ホームパイ』の派生商品「ホームサクッと」を新たにおつまみカテゴリーに投入し、菓子事業全体のさらなる売上拡大に注力いたしました。発売75周年を迎えた『ミルクィー』や『ルック』については、新たなタレントをブランドキャラクターに起用し、テレビコマーシャルやデジタル広告配信などの販売促進活動を積極的に展開いたしました。特に『ミルクィー』においては、「ペコちゃんミルクィードーナツクッキー」など、キャンディ以外のカテゴリー製品を新たに発売し、売上向上につとめました。『ハート』シリーズについては、「ハートクッキー（チョコアーモンド）」の発売や各種キャンペーンの実施により、売上は堅調に推移いたしました。また、グミ製品の拡売を通じて、収益基盤のさらなる拡充を推進してまいります。

上記の結果、単体の菓子事業の売上は、前年同期の実績を上回りました。

飲料事業では、「ネクターつぶつぶミックス380gボトル缶」など新製品投入の寄与もあり、売上は前年同期の実績を上回りました。なお、富士裾野工場において製造を開始した天然水については、需要期である夏場に向けて拡売をはかってまいります。

不二家（杭州）食品有限公司においては、中国国内の景気低迷の影響を受けたものの、主力製品である「ポップキャンディ」やECチャネルでの販売が堅調に推移した結果、売上は前年同期の実績を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における製菓事業全体の売上高は212億5百万円（対前年同期比109.4%）となりました。今後は、高騰時に調達したカカオ豆の消費が進むとともに、足元の価格も安定傾向にあることから、第2四半期以降の原価率は徐々に改善し、業績は回復に向かうものと見込んでおります。

#### <その他>

キャラクターグッズ販売事業、ライセンス事業、不動産賃貸事業及び(株)不二家システムセンターのデータ入力サービスなどの事務受託業務の売上高は9億6百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

流動資産は401億17百万円で、主に売掛金の減により前連結会計年度末に比べ28億2百万円の減少となりました。固定資産は636億29百万円で、主に有形固定資産の増により、前連結会計年度末に比べ1億82百万円の増加となりました。この結果、総資産は1,037億46百万円で前連結会計年度末に比べ26億19百万円減少いたしました。

また、流動負債は212億82百万円で、主に支払手形及び買掛金や未払法人税等の減により前連結会計年度末に比べ18億40百万円減少いたしました。固定負債は171億39百万円で、前連結会計年度末並みとなりました。この結果、負債は合計384億21百万円で、前連結会計年度末に比べ18億40百万円減少いたしました。

純資産は653億24百万円で、主に利益剰余金の減により前連結会計年度末に比べ7億79百万円減少いたしました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年2月10日に発表した予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,318	14,500
売掛金	19,580	13,143
商品及び製品	4,630	5,501
仕掛品	618	809
原材料及び貯蔵品	4,676	5,346
その他	1,270	989
貸倒引当金	△175	△173
流動資産合計	42,920	40,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,372	16,225
機械装置及び運搬具（純額）	17,719	18,772
土地	7,598	8,173
リース資産（純額）	967	924
その他（純額）	3,803	1,906
有形固定資産合計	45,461	46,003
無形固定資産		
その他	1,540	1,507
無形固定資産合計	1,540	1,507
投資その他の資産		
投資有価証券	7,549	7,467
繰延税金資産	927	1,041
敷金及び保証金	1,985	2,007
退職給付に係る資産	1,322	1,323
その他	4,778	4,405
貸倒引当金	△120	△126
投資その他の資産合計	16,444	16,117
固定資産合計	63,446	63,629
資産合計	106,366	103,746

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,355	7,763
短期借入金	960	960
リース債務	204	202
未払金	3,993	3,482
返金負債	2,945	2,492
未払法人税等	914	342
賞与引当金	534	1,239
その他	5,216	4,799
流動負債合計	23,123	21,282
固定負債		
長期借入金	15,000	15,000
リース債務	629	588
繰延税金負債	336	348
退職給付に係る負債	292	334
役員退職慰労引当金	74	75
その他	804	792
固定負債合計	17,138	17,139
負債合計	40,261	38,421
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,060	4,060
利益剰余金	33,598	32,552
自己株式	△17	△17
株主資本合計	55,920	54,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	545	487
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	2,241	2,465
退職給付に係る調整累計額	1,922	1,869
その他の包括利益累計額合計	4,713	4,824
非支配株主持分	5,470	5,625
純資産合計	66,104	65,324
負債純資産合計	106,366	103,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
売上高	28,051	29,558
売上原価	18,387	20,211
売上総利益	9,663	9,347
販売費及び一般管理費	8,652	8,932
営業利益	1,010	414
営業外収益		
受取利息	13	17
受取配当金	39	12
持分法による投資利益	95	16
その他	61	32
営業外収益合計	210	79
営業外費用		
支払利息	11	72
支払手数料	19	-
その他	16	26
営業外費用合計	47	98
経常利益	1,172	395
特別利益		
固定資産売却益	0	-
関係会社株式売却益	282	-
特別利益合計	282	-
特別損失		
固定資産廃棄損	101	35
特別損失合計	101	35
税金等調整前四半期純利益	1,354	359
法人税、住民税及び事業税	656	254
法人税等調整額	△168	△29
法人税等合計	487	225
四半期純利益	866	134
非支配株主に帰属する四半期純利益	82	103
親会社株主に帰属する四半期純利益	784	30



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	866	134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	△26
為替換算調整勘定	△556	374
退職給付に係る調整額	△28	△53
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	△53
その他の包括利益合計	△634	241
四半期包括利益	231	376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319	142
非支配株主に係る四半期包括利益	△87	233

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	6,242	—	6,242	—	6,242	—	6,242
レストラン	1,516	—	1,516	—	1,516	—	1,516
菓子	—	18,459	18,459	—	18,459	—	18,459
飲料	—	921	921	—	921	—	921
その他	—	—	—	859	859	—	859
顧客との契約から生じる収益	7,759	19,380	27,139	859	27,999	—	27,999
その他の収益	—	—	—	51	51	—	51
外部顧客に対する売上高	7,759	19,380	27,139	911	28,051	—	28,051
セグメント間の内部売上高	—	64	64	114	178	△178	—
計	7,759	19,444	27,204	1,025	28,229	△178	28,051
セグメント損益(△は損失)	△394	2,431	2,036	179	2,216	△1,205	1,010

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△1,205百万円には、その他の調整△2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,202百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	5,963	—	5,963	—	5,963	—	5,963
レストラン	1,482	—	1,482	—	1,482	—	1,482
菓子	—	19,969	19,969	—	19,969	—	19,969
飲料	—	1,235	1,235	—	1,235	—	1,235
その他	—	—	—	846	846	—	846
顧客との契約から生じる収益	7,445	21,205	28,651	846	29,497	—	29,497
その他の収益	—	—	—	60	60	—	60
外部顧客に対する売上高	7,445	21,205	28,651	906	29,558	—	29,558
セグメント間の内部売上高	—	52	52	111	163	△163	—
計	7,445	21,257	28,703	1,018	29,721	△163	29,558
セグメント損益(△は損失)	△328	1,881	1,552	148	1,700	△1,286	414

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△1,286百万円には、その他の調整△1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,285百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 2025年7月に一部の子会社で「洋菓子事業」から「菓子事業」に業態変更を行っております。これに伴い、当該子会社で従来「洋菓子事業」に含めていた売上高、セグメント損益等は業態変更以降は「菓子事業」に含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	1,282百万円	1,541百万円